

津波防災国際ワークショップ in 神戸2005

主催：独立行政法人港湾空港技術研究所

◎日時：2005年1月17日（月）9:00～17:30（受付開始 8:30）

◎場所：神戸国際会議場 501 号室

◎言語：日本語・英語（英一日の同時通訳あり）

日本では、近い将来発生する東海、東南海、南海地震などに伴う巨大津波による被害を軽減する対策が求められている。また、昨年(2004年)末のインド洋大津波のように、津波は大洋を容易に伝わり沿岸の世界各国に被害を発生させる。津波防災や減災のためには、迅速かつ的確な避難を支援するためのソフト対策や構造物によって地域を守るハード対策が必要である。

本ワークショップでは、インド洋大津波に関する現地調査や報告、津波やそれによる被害を推定するための数値計算や模型実験、統合的な防災・減災対策に関する世界の最新の研究が発表され、津波から人命及び財産の損失を軽減させるためのこれからの津波防災・減災技術を議論する。なお、本ワークショップの議論は、翌日1月18日の「これからの津波防災に関する国際シンポジウム」（本紙反対面参照）に引き継がれ、議論が深められる。

インド洋大津波を受けてプログラムを変更しました！

基 調 講 演 (11:10-12:00)

高山知司博士（京都大学防災研究所教授）・・・“これからの津波防災技術”

講演者と内容

インド洋大津波特別セッション(9:30-11:00)

越村俊一博士（人と防災未来センター専任研究員）・・・“インド洋大津波の数値計算”

平石哲也博士（港湾空港技術研究所波浪研究室長）・・・“タイの津波被災調査報告”

富田孝史博士（港湾空港技術研究所高潮津波研究室長）・・・“スリランカの津波被災調査報告”

Harry Yeh 博士（米国オレゴン州立大学教授）・・・“インドの津波被災調査報告”

今村文彦博士（東北大学教授、大学院災害制御研究センター長）・・・“これまでの調査のまとめと今後の調査”

防災・減災対策(13:00-15:00)

Laura Kong 博士（国際津波情報センター長）・・・“太平洋におけるリスク軽減イニシアチブ”

永井紀彦博士（港湾空港技術研究所海象情報研究室長）・・・“沖合津波観測システム”

Michael Briggs 博士（米国陸軍技術開発研究センター海岸水理研究所）・・・“アメリカにおける津波防災研究”

Ahmet Yalciner 博士（トルコミドルイースト工科大学助教授）・・・“東地中海における津波とその防災”

被害推定ツール(15:10-17:10)

藤間功司博士（防衛大学校教授）・・・“分散波理論の数値計算”

Solomon Yim 博士（米国オレゴン州立大学教授）・・・“弾性体の津波挙動に関する数値モデル”

下迫健一郎氏（港湾空港技術研究所耐波研究室長）・・・“大規模津波模型実験”

Harry Yeh 博士（米国オレゴン州立大学教授）・・・“津波遡上域における最大流速と運動量流束”

上記のスケジュールは当日都合により変更することもあります



ぜひご参加
下さい！

神戸国際会議場ホームページは以下にあります。
<http://www.kcva.or.jp/kcc/icck/>

連絡先：独立行政法人 港湾空港技術研究所
高潮津波研究室 富田孝史
電話 046-844-5052
FAX 046-844-1274
Email. nagashima@pari.go.jp



これからの津波防災に関する国際シンポジウム

～国連防災世界会議パブリックフォーラム～

共催：国土交通省港湾局

独立行政法人港湾空港技術研究所

◎日 時：2005年1月18日（火）9:30～12:00（受付開始 9:00）

◎場 所：神戸国際会議場 501 号室

◎言 語：日本語・英語 ※英一日の同時通訳あり

本シンポジウムでは、昨年度末のインド洋大津波に関する現地調査や数値計算に関する報告、「津波防災国際ワークショップ in 神戸 2005」における議論の紹介、及び日本における津波防災の取り組みを紹介し、津波から人命及び財産の損失を軽減させるためのこれからの津波防災・減災技術をパネルディスカッション形式で議論し、これからの津波防災や今後の国際的な協力体制について提言する。

なお、当シンポジウムに先立つ1月17日には、当シンポジウム参加者によるワークショップが同会場で開催されており（本紙反対面参照）、その結果を反映させた議論が行われる。

パネラー

早川哲也博士（国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室専門官）

今村文彦博士（東北大学教授、大学院災害制御研究センター長）

Laura Kong 博士（国際津波情報センター長）

高山知司博士（京都大学教授、防災研究所）

Ahmet Yalciner 博士（トルコミドルイースト工科大学助教授）

Harry Yeh 博士（米国オレゴン州立大学教授） アルファベット順

司会：富田孝史博士（港湾空港技術研究所高潮津波研究室長）

特別参加者

Michael Briggs 博士（米国陸軍工兵隊技術開発研究センター海岸水理研究所）

藤間功司博士（防衛大学校教授）

永井紀彦博士（港湾空港技術研究所海象情報研究室長）

下迫健一郎氏（港湾空港技術研究所耐波研究室長）

Solomon Yim 博士（米国オレゴン州立大学教授） アルファベット順

参加費無料です。
ぜひご参加下さい！



プログラム

9:30ー 9:40 オープニング・アドレス等

9:40ー10:15 インド洋大津波被害調査報告と今後の取り組み、津波防災に関する国土交通省港湾局の取り組み、「津波防災国際ワークショップ in 神戸 2005」の議論の紹介

10:20ー11:50 フリーディスカッション

11:50ー12:00 クロージング・アドレス

上記スケジュールは、都合により変更することもあります。

連絡先：独立行政法人 港湾空港技術研究所

高潮津波研究室 富田孝史

電話 046-844-5052

FAX 046-844-1274

Email. nagashima@pari.go.jp

